

授業科目名： 保育内容の指導法 （人間関係）	教員の免許状取得のため の必修科目	単位数： 2 単位	あおやぎ かずお 担当教員名：青柳 和夫 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科 目	領域および保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報通信技術及び教材の活用を含む）		
「学位授与の方針」との関係			
星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。			
A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。			
B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。			
C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。			
D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。			
E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。			
F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。			
授業の到達目標及びテーマ			
幼児の発達に即した、主体的・対話的で深い学びの追求。			
幼児を取り巻く人間関係の特徴と課題を、家庭生活・幼稚園生活・社会生活等におけるきまりや約束、習慣との関連から考え、相手と主体的に関わる際の表現（自己主張・自己抑制）、感情について、それらをふまえた年間保育活動計画を立案することができる。			
授業の概要			
目標を達成するためには、どのような指導計画のもとに、どのように活動計画を工夫し実践していけば、幼児が「やりたい！」という意欲を持って相手と関わり、達成感や充実感を味わうことができるのか。領域「人間関係」のねらいと年間保育活動計画の内容をふまえながら、実践に即した授業を進めていく。			

授業計画

第1回：幼稚園教育の基本

第2回：領域「人間関係」のねらいと内容

第3回：人との関わりと幼児の発達過程について：3歳～5歳にかけて

第4回：身のまわりの人との関係づくり

第5回：主体的・対話的な人間関係を築く

第6回：学級経営と人間関係・ルールづくり

第7回：幼児一人一人の特性をふまえた保育の構想

第8回：領域「人間関係」の指導計画と活動目標・活動計画のあり方

第9回：領域「人間関係」の学年毎の活動目標

第10回：年間保育活動計画案を作成する上での留意点

第11回：他領域の年間保育活動計画案の事例紹介

第12回：領域「人間関係」の年間保育活動計画案の事例研究と話し合い

第13回：対話力の向上と情報機器の活用と教材の工夫

第14回：事例研究を終えての評価と改善

第15回：卒園までに身につけたい領域「人間関係」の内容と小学校への繋がり

定期試験

スクーリングでの学修内容

- ・幼稚園教育の基本と領域「人間関係」について学修する（第1回）
- ・領域「人間関係」のねらいと内容について学修する（第2回～第7回）
- ・年間保育活動計画の立案と考察について学修する（第8回～第12回）
- ・対話力の向上と情報機器の活用・教材の工夫について学修する（第13回）
- ・評価と考察による改善、小学校との繋がりについて学修する（第14回～15回）

教科書

（1）文部科学省「幼稚園教育要領解説」平成30年3月

参考文献

自作資料（領域「人間関係」の活動計画案の事例等）

- （1）監修 無藤 隆「幼稚園教育要領ハンドブック」Gakken 2017年
- （2）編著 津金 美智子「新幼稚園教育要領ポイント総整理」東洋館出版社 2017年
- （3）監修 無藤 隆 新訂 事例で学ぶ保育内容
領域「人間関係」 萌文書林

学生に対する評価

レポート評価（25％）、スクーリング評価（25％）、科目修得試験（50％）の割合で総合して評価する。